

★ 鉱山町の歴史を知ろう！ 【NO.2 自然観察】

(内容：金銀銅を採掘していた鉱山の歴史の遺構や資料などを調べます。)

ねらい (キーワード)	・鉱山町の歴史を学ぶ			
教科	社会			
所要時間	1時間～2時間	場所	施設周辺、精錬所の河原、カマンペツ木もれびの森 フットパス	人数 ～20名
準備するもの	[参加者側] □雨具 □飲み物 □筆記用具 □メモ帳 [施設側] □歴史資料			
手順	① 昔の地図を見て、鉱山町はどんな町だったかを想像する ② 昔の写真やクイズを取り入れ、軌道跡、銀座通り、精錬所跡、水力発電用水門跡など鉱山の昔の面影を探す ※MTBで移動も可 ③ まとめ			
該当するSDGs分野				
タブレット教育	事前・事後にタブレットを用いて、鉱山町の歴史について調べる、まとめる学習が可能です。以下のリンクにて、鉱山町の歴史について紹介しています。ご活用ください。 【ふおれすと鉱山 HP (鉱山の歴史) https://forestkouzan.org/kouzan_history/ 】			
イメージ写真 (フィールド・活動の様子)				
				
この活動において特に想定されるリスク				
・転倒 ・道迷い ・危険生物との接触 (ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ) ・車の往来				

雨天時催行相談

★ **野鳥観察・渡り鳥ウォッチング** 【NO.6 自然観察】


(内容：野鳥の観察をしながら、習性を学び自然を知る楽しさを体感します。)

ねらい (キーワード)	・調査体験から、野鳥の習性を学び、自然を知る楽しさを体感する				
教科	理科				
所要時間	1～2時間	場所	牛舎奥林道、幌別鉱山林道、遊歩道	人数	～20名
準備するもの	[参加者側] <input type="checkbox"/> 双眼鏡 <input type="checkbox"/> 図鑑 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 [施設側] <input type="checkbox"/> 双眼鏡 (数に限りあり) <input type="checkbox"/> フィールドスコープ <input type="checkbox"/> 図鑑 <input type="checkbox"/> 記録シート				
手順	① 野鳥の生態について学ぶ ② フィールドに出かけ、野鳥を観察し記録用紙に記入する ③ どのような種類を確認したか全体で共有 ④ まとめ				
該当するSDGs分野					
タブレット教育	事前・事後でタブレットを用いて、野鳥について調べる、まとめるが可能です。 以下のリンクにて、鉱山町の野鳥について紹介しています。ご活用ください。 【コーザン自然百科(野鳥) http://shizen-hyakka.npo-momonga.org/yatyou/yatyou.html 】				
イメージ写真(フィールド・活動の様子)					
					
この活動において特に想定されるリスク ・転倒 ・道迷い ・危険生物との接触(ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ) ・車の往来					

雨天時催行相談

★ 種の戦略・種図鑑&苗づくり 【NO.7 自然観察】

(内容：実や種を拾い、植物の種類や生存戦略を学びながら苗木を作ります。)

ねらい (キーワード)	・種の不思議に迫り、植物の戦略を学ぶ			
教科	理科			
所要時間	2時間	場所	施設周辺	人数 ~20名
準備するもの	[参加者側] <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 集める袋 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 画用紙 <input type="checkbox"/> チャックつき透明袋 [施設側] <input type="checkbox"/> 種キット <input type="checkbox"/> かご <input type="checkbox"/> 図鑑 <input type="checkbox"/> ショベル			
手順	① 森を散策しながら、種を集める ② 集めた種を種類ごとに分類する ③ 風散布、動物散布など種の戦略を学ぶ ④ グループに分かれて、種図鑑をつくる			
該当するSDGs分野				

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



この活動において特に想定されるリスク

- ・転倒
- ・道迷い
- ・危険生物との接触 (ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ)
- ・車の往来

雨天時催行相談

★ 落ち葉のグラデーション 【NO.8 自然観察】


(内容：色づいた葉を集め、種類ごとに分類し、紅葉の仕組みや違いを学びます。)

ねらい (キーワード)	・自然の色を楽しみ、紅葉のしくみを学ぶ				
教科	理科				
所要時間	1～2時間	場所	施設周辺、滝ノ沢の河原	人数	～20名
準備するもの	[参加者側] <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 集めた葉を入れる袋 [施設側] <input type="checkbox"/> 解説キット				
手順	① 森を散策しながら、色づいた葉を集める ② 紅葉のしくみを学ぶ ③ 集めた葉を種類ごとに分類し、樹種によって紅葉のしくみの違いを観察する ④ 集めた葉を色ごとに分類する ⑤ せき止めた川や水路に、色ごとに流し、グラデーションを楽しむ				
該当する SDGs分野					
イメージ写真 (フィールド・活動の様子) 					
この活動において特に想定されるリスク ・転倒 ・道迷い ・危険生物との接触 (ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ) ・車の往来					

雨天時催行相談

★ ネイチャーウォークラリー 【NO.9 自然観察】

(内容：グループに分かれ、森に隠された歴史や自然に関するクイズを解きます。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に対する興味を引き出す ・仲間と協力して課題を解決する ・鉱山の歴史を学ぶ 				
教科	理科、社会、算数				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	ふおれすと鉱山周辺 遊歩道、山神社方面	人数	～60人(大人数対応可)
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 生活科バッグ [施設] <input type="checkbox"/> 無線(引率者分) <input type="checkbox"/> 地図(グループ、引率者分) <input type="checkbox"/> お題(看板) <input type="checkbox"/> チェック表(引率者用) <input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> メジャー <input type="checkbox"/> 計り				
手順	① 地図を確認しながら森の中にお題を隠しておく ② 導入：同じもの探し(先生がもっている葉っぱと同じものを探す)をして感覚を研ぎ澄ませ、自然に慣れる。 ③ ウォークラリー説明、注意事項説明 ④ スタート：先生方は各ポイントに散らばる(またはグループに付く) ⑤ お題をすべてクリア、もしくは時間切れでグラウンドに集合 ⑥ 答え合わせ ⑦ まとめ				
該当するSDGs分野					

イメージ写真(フィールド・活動の様子)




想定されるリスク

- ・走って転ぶ、滑って転ぶことによるけが
- ・危険生物との接触(ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ)
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・車道に飛び出す
- ・枝を振り回す
- ・チームメンバーとのケンカ

雨天催行可能

★ **ネイチャービンゴ** 【NO.10 自然観察】

(内容：生きもの等が記載されたビンゴカードを使って自然の発見を楽しみます。)

ねらい (キーワード)	・生き物の痕跡などを発見し、鉾山にすむ動物たちの生態を学ぶ ・生物多様性				
教科	理科				
所要時間	1時間～2時間	場所	精錬所の河原、遊歩道、フットパス	人数	～20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 生活科バッグ (バインダー) [センター] <input type="checkbox"/> ネイチャービンゴカード (人数・グループ分) ※穴をあける工夫				
手順	① 活動説明、セーフティトーク ② ネイチャービンゴをつかって、痕跡などを探す ③ ゴールで生き物の痕跡探す、みつけたものを全体で共有 ④ 探しながら帰ってくる ⑤ まとめ (ビンゴのスペシャルを聞く)				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・道迷い
- ・車道への飛び出し
- ・急な天候変化
- ・ウルシ、ツチハンミョウなど危険な動植物を触る
- ・筆記用具を落とす

雨天催行可能

★ ネイチャーゲーム（鉱山にすむ動物たち）・生き物講座 【NO.11 自然観察】

（内容：自然や生きものを題材にしたゲームと生きものについてのお話をします。）

ねらい (キーワード)	・鉱山にすむ動物たちについてネイチャーゲームを取り入れて学ぶ ・生物多様性				
教科	理科				
所要時間	1時間	場所	ネイチャーホール	人数	～60名
準備するもの	[センター] □動物カード（人数分） □洗濯ばさみ（人数分） □動物の毛皮セット				
手順	① 鉱山の森でみられる動物は何かを質問する（イメージを膨らませる） ② 「わたしは誰でしょう」＋鉱山でみられる生き物、みられない生き物（30分） ③ 「コウモリとガ」（20分） ④ プチ動物講座（10分） ※ねらいに応じて、③を割愛し④に充てる				
該当する SDGs分野					

イメージ写真（フィールド・活動の様子）



この活動において特に想定されるリスク

- ・全体の雰囲気が落ち着かない、にぎやか
- ・声を通らない
- ・転倒

雨天催行可能（屋内対応活動）

★ 芸術の秋・造形遊び 【NO.12 自然観察】


(内容：自然素材を拾い、テーマを考えて自由作品をつくります。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然素材を活用した造形遊びから、想像力を育む ・紅葉のしくみ、様々な色が織りなす秋という季節を楽しむ 				
教科	理科				
所要時間	1.5時間～2時間	場所	施設周辺	人数	～20名
準備するもの	<p>[参加者側]</p> <p><input type="checkbox"/>軍手 <input type="checkbox"/>集める袋 <input type="checkbox"/>筆記用具</p> <p>[施設側]</p> <p><input type="checkbox"/>解説キット <input type="checkbox"/>鏡 <input type="checkbox"/>図鑑 <input type="checkbox"/>皿 <input type="checkbox"/>プレート <input type="checkbox"/>ペン</p>				
手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 秋の自然物に気づくようなネイチャーゲームを行う ② グループに分かれて、森を歩き、秋の自然物を集める。 ③ グループに分かれて、自然素材を使って作品をつくる（お皿に秋の料理を盛り付ける、秋のお弁当箱をつくる、秋をテーマにした自由作品をつくるなど） ④ できあがった作品にタイトルをつける ⑤ 他のグループの作品をみる展覧会を行う ⑥ まとめ 				
該当するSDGs分野					
イメージ写真（フィールド・活動の様子）					
					
この活動において特に想定されるリスク					
<ul style="list-style-type: none"> ・転倒 ・道迷い ・危険生物との接触（ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ） ・車の往来 					

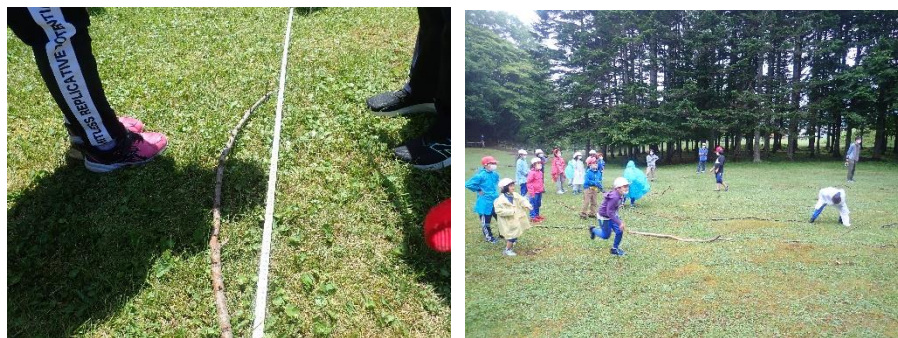
雨天時催行相談

★ **木リレー** 【NO.13 自然観察】

(内容：リレー形式で森の中から落ちた枝を探して持ち帰り、長さを競います。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して、達成感を得る ・自然の中での観察力を養う 				
教科	体育、理科				
所要時間	15分～30分	場所	グラウンド	人数	～60名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 帽子 [センター] <input type="checkbox"/> メジャー (測定用)				
手順	① 活動のルール説明、セーフティトーク ② スタート (リレー形式で森の中から落ちた枝を探して持ってくる) ③ 計測、結果発表 ④ 終了 ※木リレー終了後、集めた木をウッドシェービング (串や箸づくり)、たき火プログラム (焚き付け作り) に活用することも可能				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



この活動において特に想定されるリスク

- ・滑って転ぶ
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・熱中症
- ・急な天候変化
- ・手に何かを持って歩く、木を振り回して相手にぶつける

雨天時催行相談

★ 今日のみつけ！ 【NO.14 自然観察】

(内容：散策し、発見したものを観察、調べ、撮影したものをSNSに投稿します。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中での観察力を養い、面白いと思うことを発見する ・自然を通じた地域の魅力発信に携わる 				
教科	理科				
所要時間	45分～1.5時間	場所	グラウンド、遊歩道	人数	～60名
準備するもの	<p>[参加者]</p> <p><input type="checkbox"/>軍手 <input type="checkbox"/>帽子 <input type="checkbox"/>雨具 <input type="checkbox"/>リュック (飲み物、タオル) <input type="checkbox"/>筆記用具</p> <p><input type="checkbox"/>撮影できるもの (タブレット等)</p> <p>[センター]</p> <p><input type="checkbox"/>植物図鑑等 <input type="checkbox"/>ルーペ</p>				
手順	<p>① 活動のルール説明、セーフティトーク</p> <p>② 散策開始：先生方は各ポイントに散らばる (またはグループに付く)</p> <p>③ 発見したものを観察、調べる、撮影</p> <p>④ SNS (Instagram) に投稿【#今日のみつけ】</p> <p>⑤ まとめ</p> <p>※活動は、「個人」「グループ」「個人&グループ」で行うことが可能。また、ネイチャーウォークラリーやフットパスハイキングなど他プログラムと並行して行うことも可能</p>				
該当するSDGs分野					
タブレット教育	<p>タブレットを用いて、自然物を調べることが可能です。また、SNSに投稿することで、自然を通じた魅力発信を行うことが出来ます。以下のリンクにて、活動例と、鉾山地区の自然情報について紹介しています。</p> <p>【今日のみつけについて (Instagram) https://www.instagram.com/npo.momonga/】</p> <p>【コーザン自然百科 https://npo-momonga.org/shizen-hyakka/】</p>				

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



この活動において特に想定されるリスク

- ・滑って転ぶ
- ・熱中症
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・危険生物との接触 (ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ、ツチハンミョウ)
- ・急な天候変化
- ・車道に飛び出す

雨天時催行相談

★ **たき火おこし (たき火選手権)** 【NO.15 自然体験】

(内容：薪や自然素材を使って、たき火のつけ方を学びます。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して、達成感を得る ・火おこしの技術の習得 ・木や火の性質を学ぶ 				
教科	理科				
所要時間	1時間	場所	ふおれすと鉱山周辺 グラウンド	人数	～60人
準備するもの	<p>[参加者]</p> <p><input type="checkbox"/>マッチ <input type="checkbox"/>新聞紙 <input type="checkbox"/>うちわ <input type="checkbox"/>軍手・皮手袋</p> <p>[センター]</p> <p><input type="checkbox"/>たき火台 <input type="checkbox"/>火ばさみ <input type="checkbox"/>薪(有料) <input type="checkbox"/>鉄の棒(たき火選手権用) <input type="checkbox"/>タコ糸</p> <p><input type="checkbox"/>薪割りセット(キンドリングクラッカーとハンマー)</p>				
手順	<ol style="list-style-type: none"> ① たき火をグループに1つ出す ② グループごとにたき火セットを配る ③ まずはノーレクチャーで火起こし開始 ④ レクチャー(どうしたら付くのか、何が燃えるのか)をして火起こし開始 ⑤ 火が起きたら薪を加えてたやさないようにする ⑥ 火を消火、消し炭を炭捨て場へ <p>※たき火選手権ではU字溝の横に立てて、間にタコ糸を張る。決められたマッチ、薪、新聞紙を渡してスタート。火を燃え上がらせて早く糸を燃やし切ったチームの勝利。</p> <p>※起こしたたき火でクマザサ茶作りとの組み合わせも可能。</p>				
該当する SDGs分野					

イメージ写真(フィールド・活動の様子)





想定されるリスク

- ・U字溝を落とす
- ・切り傷、擦り傷
- ・煙で目が痛くなる。
- ・やけど(火の粉がとぶ、薪に触れる、U字溝に触る、直接火に触れる、ナイロン付きの軍手を使う)

雨天時催行相談

★ ウッドシェービング 【NO.16 自然体験】

(内容：森から枝を探し、ナイフを使って串や焚付などを作ります。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・木の性質を知る ・刃物の扱いに慣れる ・自然環境の中における「生活の知恵(ブッシュクラフト)」を学ぶ 				
教科	図工、理科				
所要時間	30分～60分	場所	グラウンド、野外炊事棟	人数	～60名
準備するもの	<p>[参加者]</p> <p><input type="checkbox"/>軍手</p> <p>[センター]</p> <p><input type="checkbox"/>ナイフ(クラフトナイフ37本 / 小刀: 右利き34本、左利き7本)計78本</p> <p><input type="checkbox"/>枝(鉾山敷地内で拾うことも可 / 持参も可) <input type="checkbox"/>のこぎり</p>				
手順	<p>① 活動説明、セーフティトーク</p> <p>② 枝探し</p> <p>③ ナイフの使い方について</p> <p>④ 実施(串づくりや焚き付け作りなど)</p> <p>⑤ 片付け・終了</p> <p>※活動で使用する枝は、他プログラム(木リレー、ネイチャーウォークラリーなどの散策プログラム)で集めることは可能。</p> <p>※削った枝は、たき火プログラムや野外調理プログラムに活用可能。 (活用例: マシュマロを焼く用の串、箸、たき火用の焚き付けなど)</p>				
該当するSDGs分野	    				

イメージ写真(フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・枝を振り回す
- ・刃物によるケガ

雨天時催行相談

★ **MTB (マウンテンバイク) 林道ツアー 【NO.17 自然体験】**

(内容: MTBに乗って林道(砂利道)を走ります。)

ねらい (キーワード)	・MTBに乗る楽しさ、自然の中での活動を楽しむ				
教科	体育				
所要時間	1時間～1時間30分	場所	カマンベツ林道	人数	～20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 行動食 [センター] <input type="checkbox"/> MTB (有料貸出/台数に制限あり) <input type="checkbox"/> ヘルメット (貸出) <input type="checkbox"/> パンクキット <input type="checkbox"/> 無線				
手順	① 活動説明、セーフティトーク ② フィッティング、グラウンドでブレーキ、ギアチェンジなど乗り方の練習 ③ 鉱山橋まで、舗装路を走りながら変速の練習 ④ カマンベツ河原到着 ⑤ 河原で、グリーンタフを探す、削るなど遊ぶ ⑥ 帰路につく ⑦ 片付け (MTB、ヘルメットの水洗い)				
該当する SDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



この活動において特に想定されるリスク

- ・MTBの不具合 (パンク、チェーンが外れる、ブレーキが利かないなど)
- ・道迷い
- ・川に入ってしまう
- ・車の往来
- ・転倒

雨天時催行相談

★ 鉱石探し 【NO.18 自然観察】

(内容： 昔、採掘していた鉱石を探しながら鉱山町の歴史を学びます。)

ねらい (キーワード)	・鉱山の歴史について学ぶ ・地質、鉱石について学ぶ ・発見する楽しさ、達成感を味わう				
教科	理科、社会				
所要時間	1時間～1時間30分	場所	ずり捨て場、うずら山	人数	～20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ゴーグル (あれば) <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 [センター] <input type="checkbox"/> 鉱石の見本 <input type="checkbox"/> 鉱石ハンマー <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> ライト (鉱石をみせる) <input type="checkbox"/> ファールブル <input type="checkbox"/> 鉱石図鑑 <input type="checkbox"/> ルーペ				
手順	①活動説明・鉱山の歴史説明・移動 ②道具の使い方・ルール説明 ③鉱石探し ④移動 ⑤まとめ				
該当する SDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・割れた破片が目に入る、人に当たる
- ・ハンマーで手をたたく
- ・川に入ってしまう
- ・鉱石を拾う際、斜面を登って転ぶ
- ・石を投げる
- ・ウルシに触る

雨天催行可能

★ フットパスハイキング 【NO.19 自然体験】

(内容：森の中を歩きながら、生きものを観察したり、鉱山町の歴史を学びます。)

ねらい (キーワード)	・鉱山の自然から発見を楽しみ、自然に親しむ ・鉱山の歴史を学ぶ				
教科	理科、社会				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	カマンベツ木もれびの森 フットパス	人数	～20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 行動食 [センター] <input type="checkbox"/> 歴史の写真(発電所)				
手順	① コース説明、セーフティトーク、装備チェック ② 銀座通りにて鉱山の歴史説明 ③ フットパスの水路跡、ビオトープにて、歴史の名残、生き物の痕跡などを探しながらハイキング ④ ゴールのカマンベツの河原に到着 ⑤ 帰路(林道) ⑥ まとめ				
該当するSDGs分野					

イメージ写真(フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・転倒
- ・道迷い
- ・川に入ってしまう
- ・車の往来
- ・ツタウルシ、ヤマウルシに触る

雨天催行可能

★ 流れる水のはたらきの実験（ピコピカ） 【NO.21 自然観察】

（内容：水の流れを利用して明かりを灯し、自然エネルギーについて考えます。）

ねらい (キーワード)	・5年生理科で学ぶ「流れる水のはたらき」を実験から学ぶ ・鉱山の歴史を学ぶ ・流れる水の力の役割（水害、自然エネルギー）を知る		
教科	理科		
内容	水の流れを利用して明かりを灯し、自然エネルギーについて考えます。		
所要時間	1時間30分～2時間	場所 滝ノ沢橋・鉱山橋 里の川	人数 ～20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> メモ帳など [センター] <input type="checkbox"/> じょうろ <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> 移植ごて <input type="checkbox"/> 普段時の川の写真 <input type="checkbox"/> ピコピカ		
手順	① 活動説明、セーフティトーク ② 滝ノ沢橋まで移動（15分） ③ 川の様子を観察、三作用のレクチャー（10分） ④ 移動、ふおれすと鉱山帰着（15分） ⑤ 里の川へ移動（5分） ⑥ 川の流れる実験（20分） 里の川の流れをみる / 三作用について話し合いグループワーク ⑦ 小水力発電ピコピカで水力発電の実験（15分） ※人数が多い場合、〈増水する川を観察する〉と〈実験〉をローテーションで行う		
該当する SDGs分野			

イメージ写真（フィールド・活動の様子）






この活動において特に想定されるリスク

- ・濡れからくる低体温
- ・道迷い
- ・急な天候変化

雨天催行可能

★ チームビルディング 【NO.27 組織づくり】

(内容：長さチャレンジなどグループで協力して活動することで団結力を高めます。)

ねらい (キーワード)	・チームビルディングを取り入れて、団結力を高める				
教科	道徳				
所要時間	1時間	場所	ネイチャーホール、 グラウンド	人数	～60名
準備するもの	[センター] □ブルーシート (グループ分) □バケツ (グループ分) □ボール (グループ分) □鍋の蓋 □メジャー (測定用)				
手順	① ルール説明 ② ねらい、時間に合わせて、アクティビティを組み合わせ実施 ・長さチャレンジ (20分) ・バケツボール (30分) ※クラス対抗、先生児童対抗 ・空飛ぶじゅうたん (20分) ・新聞島 (20分) ・高さチャレンジ (20分) ③ まとめ				
該当する SDGs分野	  				

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・全体の雰囲気が落ち着かない、にぎやか
- ・声が通らない
- ・転倒

雨天催行可能 (屋内対応活動)

★ リバートレッキング 【NO. 34 自然体験】

(内容：川を渡渉したり、川の中を歩いて目的地を目指し、川遊びを行います。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・直接体験から、楽しさ、達成感を得る ・川という自然の力を体験活動から学ぶ ・地域の自然環境を知る 				
教科	理科、社会				
所要時間	1.5時間～2時間 ※昼食をはさみ4時間の計画づくりも可能	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・げんちゃん河原～滝ノ沢 ・げんちゃん河原～精錬所の河原 ・滝ノ沢～アシタカの泉 ・滝ノ沢～カマンベツ ・ガウディの河原～メノウの淵 	人数	1グループ:～20名
準備するもの	<p>[参加者]</p> <p><input type="checkbox"/>ぬれてもよい服装・運動靴 <input type="checkbox"/>着替え <input type="checkbox"/>軍手 <input type="checkbox"/>コップ <input type="checkbox"/>リュック (雨具、飲み物、昼食、タオル)</p> <p>[センター]</p> <p><input type="checkbox"/>PFD (貸出) <input type="checkbox"/>ヘルメット (貸出) <input type="checkbox"/>スローロープ <input type="checkbox"/>あたたかい湯 (緊急用)</p>				
手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 活動の説明、セーフティトーク ② 装備準備 (PFD、ヘルメット)、装着確認 ③ 移動、入渓 ④ リバートレッキング (休憩、人数確認、昼食など) ⑤ ゴール地点で川遊び ⑥ 林道を歩いて帰着 ⑦ 道具の水洗い、片付け ⑧ シャワー室へ移動 				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・流される、溺れる
- ・滑って転ぶ
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・急な天候変化、急な増水
- ・石を投げる
- ・手に何かを持って歩く
- ・濡れによる低体温症
- ・移動中の熱中症
- ・靴が流される

雨天催行可能、荒天・増水時中止

★ 水生昆虫探し 【NO. 35 自然観察】

(内容：水の中にすんでいる昆虫を探し、生態を学びます。)

ねらい (キーワード)	・川に生息する水生昆虫から川の環境について考える ・生物多様性 ・生き物に触れる不思議				
教科	理科				
所要時間	1時間	場所	精錬所の河原	人数	～30名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> ぬれてもよい服装・運動靴 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> コップ <input type="checkbox"/> リュック (雨具、飲み物、昼食、タオル) [センター] <input type="checkbox"/> PFD (貸出) <input type="checkbox"/> ヘルメット (貸出) <input type="checkbox"/> 網 <input type="checkbox"/> 箱眼鏡 <input type="checkbox"/> 水槽・バケツ <input type="checkbox"/> 観察用バット (白) <input type="checkbox"/> 水生昆虫解説下敷き				
手順	① 精錬所の中州へ川を渡って移動する ② 活動内容・道具の使い方説明、注意事項説明 (採集の範囲など) ③ 水生昆虫探し、中州に準備したバットや水槽に見つけた水生昆虫を入れていく ④ 集合し、水生昆虫を観察する。どんな種類が見つかったか、どんなところで見つけやすかったか、全体で共有 ⑤ 時間次第で、2回戦 ⑥ まとめ、水生昆虫と水質の関係の解説				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・流される、溺れる
- ・滑って転ぶ
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・急な天候変化、急な増水
- ・石を投げる
- ・手に何かを持って歩く
- ・濡れによる低体温
- ・移動中の熱中症
- ・道具を流してしまう

雨天催行可能、荒天・増水時中止

★ じゃぶじゃぶ池遊びと雨の日のネイチャーゲーム（雨プロ） 【NO.36 自然体験】

（内容： 敷地内の池でカヌーやウォータースライダーを楽しみます。）

ねらい (キーワード)	・増水時で川に行けなくても、川の水の冷たさ、楽しさを味わう ・雨の日だからこその特別感を体験する				
教科	理科				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	グラウンド じゃぶじゃぶ池	人数	～60名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> ぬれてもよい服装・運動靴 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 [センター] <input type="checkbox"/> PFD（貸出） <input type="checkbox"/> ヘルメット（貸出） <input type="checkbox"/> カヤック、パドル <input type="checkbox"/> ドラム缶風呂（要望があれば） <input type="checkbox"/> 薪、焚き付け <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> 巻き尺 <input type="checkbox"/> 測り <input type="checkbox"/> 雨水を集める入れ物（同じサイズのがグループ分）				
手順	① 活動説明、セーフティトーク、装備準備 <雨の日のネイチャーゲーム> ② 自然物を使った長さチャレンジ（15分） ③ 雨水集め（15分） ④ 自然物を使った重さチャレンジ（15分） <じゃぶじゃぶ池遊び> ⑤ウォータースライダー、カヤック、ドラム缶風呂（45分） ⑥片付け、シャワー室へ ※人数が多い場合、<増水する川を観察する>と<実験>をローテーションで行う				
該当するSDGs分野					

イメージ写真（フィールド・活動の様子）



- ・流される、溺れる
- ・急な天候変化、急な増水
- ・ウォータースライダー時にぶつかる
- ・滑って転ぶ
- ・じゃぶじゃぶ池の階段から落下
- ・濡れによる低体温
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動

雨天催行可能

★ 川遊び 【NO.37 自然体験】

(内容：川に入って、飛び込み、川遊びを楽しみます。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・直接体験から、楽しさ、達成感を得る ・川という自然の力を体験活動から学ぶ ・地域の自然環境を知る 				
教科	理科、社会				
所要時間	1.5時間	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・げんちゃん河原 ・滝ノ沢の河原 ・アシタカの泉 ・銅精錬所の河原 	人数	～30名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> ぬれてもよい服装・運動靴 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 [センター] <input type="checkbox"/> PFD (貸出) <input type="checkbox"/> ヘルメット (貸出)				
手順	① 活動の説明、セーフティトーク ② 装備準備 (PFD、ヘルメット)、装着確認 ③ ポイントまで移動 ④ 現地で安全確認、川遊び ⑤ フォレスト鉱山へ移動 ⑥ 道具の水洗い、片付け ⑦ シャワー室へ移動				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・流される、溺れる
- ・滑って転ぶ
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・急な天候変化、急な増水
- ・石を投げる
- ・手に何かを持って歩く
- ・濡れによる低体温症
- ・移動中の熱中症
- ・靴が流される

雨天催行可能、荒天・増水時中止

★ 木工クラフト (フォトフレーム) 【NO. 39 自然体験】

(内容：台紙の板に拾ってきた枝や木の実をつけ、フォトフレームを作ります。)

ねらい (キーワード)	・自然素材を使ったモノづくりを通しての成果物 ・木の性質を知る		
教科	図工		
所要時間	1～1.5時間	場所 木工室、野外炊事棟、 ホール	人数 ～20人 (大人数：要相談)
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> クラフト材料 (枝、松ぼっくり、ドングリ、木の実など) <input type="checkbox"/> 段ボール用紙 <input type="checkbox"/> グルーガンの芯 【※上記、フォトフレームキット (1人100円) での購入も可】 <input type="checkbox"/> ボンド <input type="checkbox"/> 油性マジック [センター] <input type="checkbox"/> のこぎり <input type="checkbox"/> カッター <input type="checkbox"/> 色鉛筆 <input type="checkbox"/> 材料キット (有料)		
手順	① 段ボール用紙を準備する ② 好きな素材を選ぶ (枝、木の実など) ③ 写真を入れる場所を決めて、デザインを考える ④ 決めたらグルーガン、ボンドで張り付ける ⑤ 完成 ※時間が余れば思い出などを絵にかいてもらい、飾る。また使っている素材についての説明など。 ※時間に余裕があれば、屋外へ素材探しにいくところから始めるのも良い。小枝の三脚づくりと並行可能。		
該当する SDGs分野			

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)







想定されるリスク

- ・やけど
- ・道具使用によるけが
- ・枝を振り回す

雨天催行可能 (屋内対応活動)

★ 小枝クラフト（小枝の三脚） 【NO.40 自然体験】

（内容：散策で枝を拾い、三脚になるように組み合わせて写真を置く台を作る。）

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材を使ったモノづくりを通しての成果物 ・木の性質を知る 				
教科	図工				
所要時間	0.5～1時間	場所	木工室、野外炊事棟、ホール	人数	～20名 (大人数：要相談)
準備するもの	[参加者側] <input type="checkbox"/> 枝などの材料 <input type="checkbox"/> クラフトナイフ <input type="checkbox"/> 麻ひも [施設側] <input type="checkbox"/> のこぎり <input type="checkbox"/> クラフトナイフ <input type="checkbox"/> 剪定ばさみ				
手順	① 三脚になる枝を見つけて組み合わせる（2本の枝は二股になった部分を使う） ② 同じ長さになるよう、切って調整する ③ 三本の枝を並べて、麻ひもを使って結ぶ ④ 三脚のように立て、写真などを置くスペースの土台の枝を、麻ひもを使ってつける ⑤ 枝の先を丸く切って仕上げる ※時間に余裕があれば、屋外へ素材探しに行くところから始めるのも良い。 また、フォトフレームづくりと並行も可能。				
該当するSDGs分野	   				

イメージ写真（フィールド・活動の様子）







この活動において特に想定されるリスク

- ・道具使用によるけが（のこぎり）

雨天催行可能（屋内対応活動）

★ 木のマグネット 【NO.42 自然体験】

(内容：枝や松ぼっくりなどの自然素材を使ってオリジナルマグネットを作ります。)

ねらい (キーワード)	・自然素材を使ったモノづくりを通しての成果物 ・木の性質を知る		
教科	図工		
所要時間	0.5時間	場所 木工室、野外炊事棟、 ホール	人数 ~20名 (大人数：要相談)
準備するもの	[参加者側] <input type="checkbox"/> 枝などの材料 <input type="checkbox"/> 紙やすり <input type="checkbox"/> マグネット <input type="checkbox"/> オリーブオイル、クルミなど仕上げのオイル <input type="checkbox"/> グルーガンのり [施設側] <input type="checkbox"/> のこぎり <input type="checkbox"/> クラフトナイフ <input type="checkbox"/> 焼きペン <input type="checkbox"/> グルーガン		
手順	① 枝を伐る ② 裏側になる部分を紙やすりで磨いて平らにする ③ グルーガンでマグネットをつける ④ 焼きペンで名前・模様を入れ、仕上げのオイルを塗る ※時間に余裕があれば、屋外へ素材探しに行くところから始めるのも良い。		
該当する SDGs分野	   		

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・道具使用によるけが (のこぎり)

雨天催行可能 (屋内対応活動)

★ バードコール (NO.45 自然体験)

(内容：小枝をのこぎりで短く切り、ドリルで穴をあけネジを入れて作ります。)

ねらい (キーワード)	・自然素材を使ったモノづくりを通しての成果物 ・木の性質を知る		
教科	図工		
所要時間	0.5～1時間	場所	木工室、野外炊事棟、 ホール
		人数	～20名 (大人数：要相談)
準備するもの	[参加者側] <input type="checkbox"/> ねじ <input type="checkbox"/> 紙やすり <input type="checkbox"/> 枝などの材料 <input type="checkbox"/> 革ひもや麻ひも [施設側] <input type="checkbox"/> 穴あけドリル <input type="checkbox"/> ドリルの刃 <input type="checkbox"/> 剪定ばさみ <input type="checkbox"/> のこぎり <input type="checkbox"/> 焼きペン		
手順	① 直径2センチから3cmくらいの小枝を長さ5cm程にノコギリ等で切る ② 穴あけドリルで穴をあける(ねじより0.5mmくらい小さくする) ③ ねじを穴の部分にねじ込む ④ ねじの部分にひもを通す ※時間に余裕があれば、屋外へ素材探しにいくところから始めるのも良い。		
該当する SDGs分野			

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・道具使用によるけが

雨天催行可能 (屋内対応活動)

★ 鉱石アクセサリーづくり (NO.46 自然観察)

(内容：拾ってきた鉱石を針金とビーズを使ってペンダントを作ります。)

ねらい (キーワード)	・鉱山の歴史について学ぶ ・モノづくりを通しての成果物		
教科	理科、社会、図工		
所要時間	1時間	場所	木工室、野外炊事棟、ホール 人数 ~20人 (大人数：要相談)
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> ペンチ <input type="checkbox"/> ビーズ <input type="checkbox"/> 麻ひも <input type="checkbox"/> 針金 ※鉱石アクセサリーキット (1人100円)での購入も可 [センター] <input type="checkbox"/> 材料キット (有料) <input type="checkbox"/> ペンチ <input type="checkbox"/> ゴミ箱 <input type="checkbox"/> 鉱石アクセサリー見本		
手順	① 道具を配る ② 作り方のレクチャー ③ アクセサリーづくり ④ ひもで結んで完成、出来上がりをグループで共有 ※時間があればファールによる石の観察なども可能 ※鉱石探しプログラムを行ってからアクセサリーづくりも可能		
該当するSDGs分野			

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




想定されるリスク

- ・針金が刺さる
- ・はさみやペンチによるケガ
- ・道具が足りない
- ・鉱石をなくした

雨天催行可能 (屋内対応活動)

★ 草木染め (NO.47 自然体験)

(内容：自然の植物を採取し、煮だして、布を染めます。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の生活体験を行うことから、自然と人との関係を学ぶ ・自然からいただいたものを生活に取り入れることで暮らしを豊かにする 		
教科	生活、図工		
所要時間	1時間30分	場所 グラウンド、遊歩道 ※調理台でも可	人数 ~20名 (大人数：要相談)
準備するもの	<p>[参加者側]</p> <p><input type="checkbox"/>染める布 <input type="checkbox"/>みょうばん <input type="checkbox"/>輪ゴム <input type="checkbox"/>割りばし</p> <p>[施設側]</p> <p><input type="checkbox"/>草木染め用鍋 <input type="checkbox"/>ビー玉 <input type="checkbox"/>ボウル <input type="checkbox"/>トンガ</p>		
手順	<p>事前準備：染める布の下処理</p> <p>染める布を豆乳に浸して、乾かしておく（より染まりやすくなる）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 森に出かけ、草木染めの材料を集める（ヨモギ、イタドリ、アカソなど） ② U字溝をグループに1つ出し、火を起こし、たき火を行う ④ 材料を鍋に入れ、煮だして色を出す ⑤ 染める布に輪ゴム、ビー玉、割りばしを使って、好きな絞りを入れる ⑥ 染める布を入れて、煮る ⑦ みょうばんにつけて、媒染を行う（色どめ） ⑧ 出来上がった作品を干す ⑨ まとめ・片付け 		
該当する SDG s 分野			

イメージ写真（フィールド・活動の様子）




この活動において特に想定されるリスク

- ・U字溝を落とす
- ・切り傷、擦り傷
- ・煙で目が痛くなる
- ・やけど（火の粉がとぶ、薪に触れる、U字溝に触る、直接火に触れる、ナイロン付きの軍手を使う）

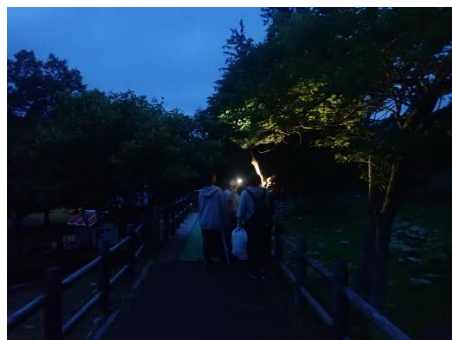
雨天催行可能（屋内対応活動）

★ ナイトハイキング (NO.48 自然観察)

(内容：夜の森に出かけ、五感を使って生き物の気配を感じます。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜という特別な時間、五感をフルに使って気づきを促す ・野生動物など生き物の気配を感じる 				
教科	理科				
所要時間	1時間程度	場所	ふおれすと鉱山周辺 遊歩道、山神社方面	人数	~20人
準備するもの	[参加者] 懐中電灯 (指導者用) [センター] <input type="checkbox"/> 指導者用ヘッドライト (貸出用) <input type="checkbox"/> マッチ・ライター				
手順	① 注意事項 ② 参加者より夜の森のイメージを聞く ③ 生き物の気配を感じる導入：目をつぶって音何種類 ④ (音のするところで) 耳に手をかざしてみよう ⑤ ロウソクを使った暗順応、暗闇での色の見え方の実験 ※時間とコースに応じて、星空ウォッチング、ライトを使った樹皮ウォッチング ⑥ 人数確認して終了				
該当する SDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




想定されるリスク

- ・転倒
- ・道迷い
- ・児童を置いてきてしまう
- ・危険生物との接触 (ダニ、ハチ、ドクガ、ウルシ)

雨天実施見合わせ

★ **アニマルトラッキング** 【NO.51 自然観察】

(内容：雪の上にてきたフィールドサインを探し動物の行動を探ります。)

ねらい (キーワード)	・動物の足跡や痕跡から、鉱山にすむ動物たちの生態を学ぶ ・生物多様性				
教科	理科				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	遊歩道、精錬所の河原	人数	～20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 飲み物 [センター] <input type="checkbox"/> 足跡カード <input type="checkbox"/> 動物の毛皮キット				
手順	① 活動説明、セーフティトーク ② 足跡、痕跡などを探す ③ 参加者の中で動物たちの生き様が想像できるような解説を行う ④ 探しながら帰ってくる ⑤ まとめ				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



この活動において特に想定されるリスク

- ・道迷い
- ・車道への飛び出し
- ・急な天候変化
- ・冷え、濡れからくる低体温症

荒天時実施相談

★ スノーランタンづくり（雪の性質） 【NO.52 自然観察】

（内容：バケツに雪を入れてスノーランタンを作り、夜に灯を灯します。）

ねらい (キーワード)	・体験を通して、雪の性質を学ぶ				
教科	理科				
所要時間	1.5時間～2時間	場所	グラウンド	人数	～60名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> 瓶 <input type="checkbox"/> スコップ <input type="checkbox"/> キャンドル <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> マッチ・ライター（センターでも用意可） [センター] <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> スコップ <input type="checkbox"/> マッチ・ライター				
手順	① 活動説明、セーフティトーク ② 雪の性質の学習 ・性質を利用した遊びを導入として行う ③ 雪について考える ④ 雪の実験・考察 ・雪の重さと量の実験 ・そりリレー ⑤ 雪のランタンづくり ⑥ まとめ ※夜の活動時に雪のランタンにろうそくを灯す ※時間に余裕があれば、自由遊び可能				
該当する SDGs分野					

イメージ写真（フィールド・活動の様子）



この活動において特に想定されるリスク

- ・火傷
- ・冷え、濡れからくる低体温症
- ・急な天候変化
- ・滑って転ぶ

雨天催行可能、荒天時中止

★ 雪の造形遊び（雪の性質） 【NO.53 自然観察】

（内容：雪積み競争や雪像づくりなどを通して雪の性質を学びます。）

ねらい (キーワード)	・体験を通して、雪の性質を学ぶ				
教科	理科、図工				
所要時間	1.5時間～2時間	場所	グラウンド	人数	～60名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> スコップ <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> 防寒具 [センター] <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> スコップ <input type="checkbox"/> そり				
手順	① 活動説明、セーフティトーク ② 雪の性質の学習 ・性質を利用した遊びを導入として行う ③ 雪について考える ④ 雪の実験・考察 ・雪の重さと量の実験 ・そりリレー ⑤ 雪の造形遊び（雪だけでなく自然物も使用可能） ⑥ 作品発表、まとめ ※時間が余れば、自由遊び可能				
該当するSDGs分野					

イメージ写真（フィールド・活動の様子）




この活動において特に想定されるリスク

- ・冷え、濡れからくる低体温症
- ・急な天候変化
- ・滑って転ぶ
- ・そりとの接触

雨天催行可能、荒天時中止

★ 雪を利用してアイスクリームづくり（雪の性質） 【NO.54 自然観察】

（内容：材料を入れ、雪の上で転がしアイスクリームを作ります。）

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して、雪の性質を学ぶ ・仲間との協力 				
教科	理科、家庭科、体育				
所要時間	1時間	場所	グラウンド	人数	～60名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> アイス作り用の缶（ミルク缶、茶筒、ペットボトルなど） <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> アイスの原料 <input type="checkbox"/> 塩 <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 食器 <input type="checkbox"/> アルミホイル [センター] <input type="checkbox"/> キッチンバサミ <input type="checkbox"/> 温度計				
手順	① 塩を使って雪を急激に溶かす実験、雪の特性を学ぶ ② アイスクリームの材料を容器に入れ仕込む ③ アイスクリーム容器を運動しながら回転させる 雪上サッカー／雪山から転がす／雪上そりリレーなど雪遊びを取り入れる ④ アイスクリームができているか検証・味見 ⑤ まとめ・片付け				
該当する SDGs分野					

イメージ写真（フィールド・活動の様子）



この活動において特に想定されるリスク

- ・滑って転ぶ
- ・急な天候変化
- ・冷え、濡れからくる低体温症
- ・道具の不備
- ・雪が冷えなくてアイスクリームが出来ない

雨天催行可能、荒天時中止

★ 歩くスキー 【NO. 55 自然体験】

(内容：歩くスキーで森の散策を楽しみます。)

ねらい (キーワード)	・冬のアクティビティを楽しむ				
教科	体育、理科				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	グラウンド、遊歩道、精錬所の河原	人数	～15名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 行動食 [センター] <input type="checkbox"/> 歩くスキーセット (有料貸出)				
手順	① 道具の説明、はき方、脱ぎ方レクチャー ② 板の上に乗る練習 ③ 交互に片足滑りの練習 ④ 歩くスキーで歩く練習 ⑤ 緩い坂を下りる ⑥ 歩くスキーツアー ⑦ まとめ・片付け				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・道具の不備
- ・転倒
- ・道迷い
- ・車道への飛び出し
- ・急な天候変化
- ・冷え、濡れからくる低体温症

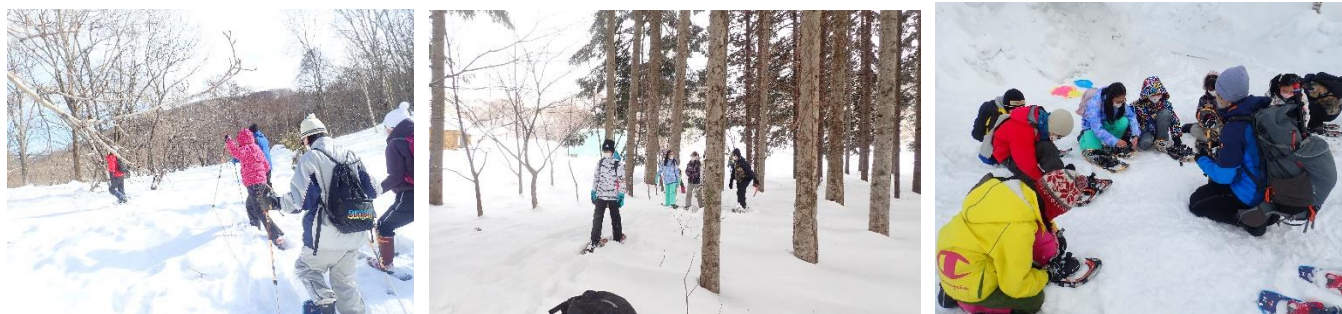
荒天時実施相談

★ **スノーシューハイキング** 【NO.57 自然体験】

(内容：西洋かんじきを履いて森の中を散策します。)

ねらい (キーワード)	・冬のアクティビティを楽しむ ・冬の自然を探検し、興味を引き出す				
教科	理科、体育				
所要時間	2時間	場所	遊歩道、フットパス、山神社方面、牛舎奥方面	人数	~20名
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 飲み物 <input type="checkbox"/> 行動食 <input type="checkbox"/> 帽子 [センター] <input type="checkbox"/> スノーシュー (有料貸出) <input type="checkbox"/> そり (尻滑り用) <input type="checkbox"/> スコップ				
手順	① 活動説明、セーフティートーク ② フィットティング、歩き方説明・練習 ③ ハイキング開始 (自然観察、雪遊び可能) ④ 片付け・まとめ				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




この活動において特に想定されるリスク

- ・滑って転ぶ
- ・迷い、いなくなる、範囲外での活動
- ・道具の不備
- ・急な天候変化
- ・冷え、濡れからくる低体温症
- ・車道への飛び出し

雨天催行可能、荒天時中止

★ **クマザサ茶・野草茶づくり** 【NO.67 生活体験】

(内容：刈ってきたクマザサを刻み、煎り、野草茶を作ります。)

ねらい (キーワード)	・仲間との協力 ・自然の恵みを味わい、知識を得る				
教科	理科、家庭科				
所要時間	1時間	場所	遊歩道周辺、調理台、グラウンド	人数	～60人
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ナイロン袋 <input type="checkbox"/> はさみ [センター] <input type="checkbox"/> 外用調理器具一式 (外用フライパン、外用なべ、ざる、トレイ、さいばし) ※調理器具貸し出しは要相談				
手順	① ササをとりに行く。鍋でお湯を沸かす。 ② とったササを洗い、はさみで細かく切る。 ③ 切ったササをフライパンで炒め、沸騰したお湯の入った鍋に入れる。 ④ 色が出てきたらササ茶完成。 ※たき火でクマザサ茶作りとの組み合わせも可能。調理台で作ることも可能。				
該当するSDGs分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



この活動において特に想定されるリスク

- ・はさみやササで手を切る
- ・お湯や火で火傷
- ・危険生物への接触

☆クマザサ茶づくりレシピ


- ① ササの葉 (なるべく枯れていなくてきれいなもの) を集める。
- ② 2cm幅くらいにハサミで切り、良く洗う。水分をきる。
- ③ フライパンで煎る。水分がある程度飛んで、少し香りが立ってくるくらいまで。
- ④ やかんに入れて煮出す。
- ⑤ たまに味をみて、おいしくなったら出来上がり

※ササの葉の分量は、1リットルにつき10枚くらいが目安ですが、大雑把で大丈夫です。

雨天催行可能

★ SDG s を学ぼう～森林の役割・地球温暖化の防止について 【NO. 69 自然観察】

(内容：森を調べ、森林の役割、地球温暖化防止について学びます。)

ねらい (キーワード)	・森林の役割、地球温暖化の防止を学ぶ ・森づくりについて学ぶ ・SDG s について学ぶ				
教科	理科、社会、算数				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	ふおれすと鉱山周辺	人数	～20人
準備するもの	[参加者] <input type="checkbox"/> バインダー (もしくはファイル) <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 軍手 [施設] <input type="checkbox"/> メジャー <input type="checkbox"/> スケール <input type="checkbox"/> 解説キット				
手順	① 二酸化炭素の吸収、森林の役割を学ぶ ② トドマツ林の大きさを測り、面積を測る ③ 計算し、炭素固定量を出す。(地球温暖化防止への貢献を数値で知る) ④ 森づくりについて学ぶ ⑤ まとめ				
該当する SDG s 分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)




想定されるリスク

- ・走って転ぶ
- ・危険生物との接触 (ダニ、ハチ、ウルシ)
- ・落ち枝など

★ **SDG s を学ぼう～川環境・水の循環** 【NO.70 生活体験】

(内容：水生生物を探し、川環境、水の循環について学びます。)

ねらい (キーワード)	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物から川環境について考える ・水の循環を学ぶ ・SDG s について学ぶ 				
教科	理科、社会				
所要時間	1時間30分～2時間	場所	ふおれすと鉱山周辺	人数	～20人
準備するもの	<p>[参加者]</p> <p><input type="checkbox"/>ぬれてもよい服装・運動靴等 <input type="checkbox"/>着替え <input type="checkbox"/>軍手 <input type="checkbox"/>リュック</p> <p>[施設]</p> <p><input type="checkbox"/>PFD (貸出) <input type="checkbox"/>ヘルメット (貸出) <input type="checkbox"/>箱眼鏡 <input type="checkbox"/>網 <input type="checkbox"/>水槽・バケツ <input type="checkbox"/>観察用バッド <input type="checkbox"/>解説シート</p>				
手順	<ol style="list-style-type: none"> ① 水のつながり、循環について学ぶ ② 水生生物を探す ③ 水生生物から川の水質、環境を知る ④ まとめ 				
該当するSDG s 分野					

イメージ写真 (フィールド・活動の様子)



想定されるリスク

- ・流される、溺れる
- ・滑って転ぶ
- ・範囲外での活動
- ・急な天候変化、急な増水
- ・石を投げる
- ・濡れによる低体温症
- ・道具を流してしまう